

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-4																																						
PDCA	主要事業名	ごみ減量対策事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	深川 23-3567																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策：循環型社会 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 8,532 千円 会計 一般会計 歳出科目 04.02.02.10.02 3か年実施計画（当該年度事業費等）： ー 千円																																												
	事業概要等	事業概要： 市民及び事業者に対して、ごみ出しルールの徹底とPR及びごみ減量につながる再利用施策の普及に努め、ごみ排出量の減量化を図る。																																											
		事業目的： ごみ減量対策のための各種事業を実施し、市民及び事業者へごみ減量につながる再利用施策の普及に努める。																																											
		事業内容： 生ごみ堆肥化容器等への設置奨励補助金の交付や、ごみ出しアプリを通じた分別方法の配信等を行う。																																											
		問題点・課題等： 生活系ごみ量の目標値が達成できていないため、より一層、ごみ分別意識の向上を図る必要がある。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	8,532 千円	ごみの適正排出及び正しい分別の普及やごみ減量のための補助金交付など、ごみ減量を図るための根幹となる事業であるため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 400 千円	正しいごみの出し方や、資源の分別を普及することで、ごみ排出量が減量し、ごみ処理経費等の負担が減少する。																																											
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民1人1日あたりのごみ排出量</td> <td>実績値</td> <td>578</td> <td>646</td> <td>-</td> <td>グラム</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>554</td> <td>530</td> <td>508</td> <td>グラム</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	市民1人1日あたりのごみ排出量	実績値	578	646	-	グラム	目標値	554	530	508	グラム		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																								
市民1人1日あたりのごみ排出量	実績値	578	646	-	グラム																																								
	目標値	554	530	508	グラム																																								
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
県費 0 千円																																													
その他 8,132 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	7,935 千円	令和3年度から家庭系ごみ有料化制度が始まるなど、市民のごみ減量に対する意識が向上したことにより、目標値を達成することができた。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民1人1日あたりのごみ排出量</td> <td>実績値</td> <td>468</td> <td>グラム</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>508</td> <td>グラム</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和3年度	単位	市民1人1日あたりのごみ排出量	実績値	468	グラム	目標値	508	グラム																											
	成果指標		令和3年度	単位																																									
	市民1人1日あたりのごみ排出量	実績値	468	グラム																																									
目標値		508	グラム																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 令和3年度は家庭系ごみ有料化を導入し、市民にごみ減量への協力を得るなかで、家庭系ごみ大幅に減量し、目標値を達成することができた。今後も市民に対して、継続してごみ減量に取り組んでもらえるような施策の実施が課題である。また、令和4年度からごみ処理の広域化が始まり、ごみ・資源の分別や搬入先が変更となるため市民への適切な案内が必要である。																																											
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 市民のごみ減量意識の醸成を図るため、令和4年度に家庭系ごみ1人1日あたりのごみ減量目標値を設定し、その目標値を達成した場合には市民に対してごみ減量協力への還元（指定資源回収袋の配布）をする。ごみ減量還元策やごみ処理広域化に伴う変更点等のごみ減量に関する情報を市報やSNS等の手段を用いて広報し、ごみ減量及び資源化の推進を図る。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																						
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																						
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																								